

# 質問・意見回答書

資料 1

## 審議会委員から、審議会中に出された意見への回答

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	計画全体	目指す将来像に、学園都市・米沢を掲げる以上、学園都市ならではの計画にして欲しい。
	学園都市について	
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p> <p>学園都市の推進については、施策 2－5 大学と連携した学園都市の推進で主な取組を記載しておりますが、他の部分でも、学園都市としての特色を出せないか、表現変更を検討いたします。6 章では、資料 1・番号 5 で回答したように、学園都市としての施策を追加させていただきました。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
2	山形大学産業研究所について	学園都市というなら、山形大学産業研究所をもっと活用して欲しい。研究成果の活用を進めていく必要がある。
	担当課： 商工課	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p> <p>市としても、奨励金の拠出を継続し、山形大学産業研究所の研究成果の事業化や技術移転といった活用を進めていきたいと考えております。</p> <p>ご意見を踏まえて、1 章 1-1-2 地域特性を活かした工業の振興（3つ目の○）に、下線部分を追記します。</p> <p>○山形大学工学部、山形大学産業研究所等の研究成果について、その事業化や市内企業への技術移転を推進します。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
3	6-2-3	米沢市にとって、移住者を増やすことは重要である。その為にも、移住のワンストップ窓口を市役所内に設置した方がいいのではないか。
	移住・定住の促進	
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p> <p>本市では、総合政策課内に移住相談窓口を設置し、県等からの紹介を受けた移住希望者に対して、様々な相談を受け付けております。移住に関する相談は、総合政策課で受け付けるものの、個別の内容については、各分野の担当課と連携して対応している状況です。今後も、このような移住相談窓口を活用し、移住希望者への支援を行ってまいります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
	6-5-1	県税では、クレジットカードでの納付が可能だ。例えば、軽

4	クレジットカード納付について	自動車税・水道料金等の身近な税金について、クレジットカード納付を導入できないか。
	担当課： 納税課 業務課	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p> <p>クレジットカード納付については、利便性向上につながるとは思います。既に導入をした県内市町村ではまだまだ利用率が低く、導入に際しては、費用対効果等の課題もございます。</p> <p>令和3年度からは、市税においてコンビニ収納及びスマホ収納を開始する予定ですので、その状況も踏まえ、今後様々なキャッシュレス決済の活用を推進していきたいと考えています。</p> <p>ご意見を踏まえまして、施策 6-5-1 健全財政の維持 ○1つ目に、下線部分を追記いたします。</p> <p>○コンビニ収納の拡大等により、市税等の収納率の維持・向上を図ります。<u>また、様々なキャッシュレス決済の活用を推進していきます。</u></p>
<b>番号</b>	<b>該当箇所</b>	<b>質問・意見内容</b>
5	6-2-2・6-3-1 学園都市としての施策	学園都市としての特色を出すため、6-2-2 国際交流の推進に、留学生との交流を入れてはどうか。また、6-3-1 市民と行政が一体となったまちづくり推進体制の整備に、学生との交流を入れてはどうか。
	担当課： 秘書広報課・ 総合政策課	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p> <p>ご意見を踏まえ、6-2-2 国際交流の推進 ○三つ目に下線部分を追記しました。</p> <p>○ <u>米沢市国際交流協会開催の外国人との交流イベント、関係団体が主催する留学生との交流イベントを通じて、国際交流外国人が暮らしやすいまちづくりを推進します。</u></p> <p>また、6-3-1 市民と行政が一体となったまちづくり推進体制の整備に以下の施策を追加します。</p> <p>○ <u>行政や地域活動等に学生を含めた市民の参画・参加を促進することで、活力あるまちづくりを推進します。</u></p>
<b>番号</b>	<b>該当箇所</b>	<b>質問・意見内容</b>
6	6-2 関係人口	<p>施策 6-2 交流・つながりを通じ、多くのひとを呼び込むまちづくりの推進だが、目指す目標値において、関係人口に関する目標値を入れた方がいいのではないか。</p> <p>また、産業界においても、企業が地域外の企業と交流を促進する取組も必要ではないか。</p>
	担当課：	<b>質問・意見への回答</b>

	総合政策課・ 米沢ブランド戦略課・ 商工課	<p>ご意見を踏まえ、施策6-2目指す目標値に、ふるさと納税申込件数と、お試し暮らし体験事業の参加者数の2つの目標値を追加しました。</p> <p>また、産業界における地域外企業との交流については、山形大学工学部や市内企業が保有する最先端技術活用に向け、地域内外の企業との連携を強化したり、市内企業による製造品等の販路拡大のため、展示会等を通じて、海外も含めた地域外の企業とつながりを持つための支援を行ったりしています。そういった取組みについては、施策1-1 活力ある商工業の推進に記載していることから、今後も積極的に取り組んで参ります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
7	6-3-1	協働提案制度が、県の類似制度と比較して利用しにくいと感じるので、より多くの人に利用してもらえるよう改善して欲しい。
	協働提案制度について	
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p> <p>協働提案制度については、多くの団体にご利用いただけるようなものとしていきたいと考えております。ご利用の際に感じられた改善点については、個別に聞き取りさせていただき、改善できないかを検討してまいります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
8	6-3	地域コミュニティの参加意識の低下が顕著で、町内会への参加意識が薄れてきているようだ。今後、住民が町内会に入ってもらわなければならない。
	地域コミュニティについて	
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p> <p>地域コミュニティ活性化のためには、町内会の維持が重要だと考えていますが、市では町内会について把握しておらず、積極的な働きかけはできていない現状です。今後、まずは現状を把握していくことから始めていきたいと考えています。具体的には、6-3-2 地域コミュニティの活性化において、包括的に取り組んでまいります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
9	6-3-1	現在、各地区ごとに様々地域活動・取組を行っていると思うが、他の地区での状況はなかなか知ることができない。地区ごとに、素晴らしい地域活動・取組があると思うので、そういったものを広報等で掲載して欲しい。
	広報について	
	担当課：	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p>

	秘書広報課	ご意見を踏まえ、今後、広報よねざわにて各地域やコミュニティセンターの地域活動や取組を紹介するような特集記事の掲載ができないか検討してまいります。
<b>番号</b>	<b>該当箇所</b>	<b>質問・意見内容</b>
10	6-2	コロナウイルスにより、多くの方がテレワークの良さを実感することができた。会社にいなくても地方にいたとしても、仕事ができるということを認識した。今後は、テレワーク等を活用し、そういった人達をターゲットにした移住促進策を進めていくことが重要ではないか。
	テレワークを活用した移住促進	
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p> <p>新型コロナウイルスの影響により、首都圏を離れて地方に移住を希望したいと考えている人達は増えるのではないかと考えております。そういった人達をターゲットに、現在、住居、雇用、保育、地域交流等をセットにしたパッケージ型の移住者支援を検討しており、その中でテレワーク等に配慮した支援策も検討してまいります。</p> <p>具体的には、施策 6-2-3 ○1つ目「○本市への移住を促進するとともに、移住希望者に対する支援体制を整備します。」で包括的に記載しておりますが、今後、テレワークなどの雇用面も含めたパッケージ型の移住者支援の検討を進めていくとともに、様々な移住支援を行うことで、首都圏等からの移住者を増やしていきたいと考えています。</p>

審議会後に書面で出された意見への回答

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	6-1 ITデジタル化について	<p>基本、役所関係はITデジタルに弱いように感じる。コロナ禍、または後の世界は、IT化及び適度あるグローバル化が、生活や、事業の基盤となるのは必定。ここは絶対的な必要条件なので、ぜひ力を入れていただきたい。具体的には市に「IT推進課」なるものを作っていただき、徹底的に市民や、企業にIT化を植え付けることをしていただきたい。(当然セキュリティー対策も並行にするが、安全を見すぎて、一歩も前に進まないのでは困る)</p> <p>米沢は、工学部や、民間のNCV等あり、環境的に非常に有利であり、ぜひプロジェクトチームをつくり、米沢市を東北一のITデジタル都市にしてほしい。IT化について来られない企業に合わせるのでは、企業の救済ではない。何としても底上げして事業環境を整えて戦える基盤を作ってほしい。</p> <p>それにはまず、市がテレワーク等を実験的に試し、とにかくやってみることが必要です。最初は社外秘レベルが低い事柄から始めればよいと思う。(オンライン飲み会でもよいと思う)</p>
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;"><b>質問・意見への回答</b></p> <p>本市では、ITの推進を専門的に取り扱う課はありませんが、総合政策課にて、Society5.0の実現に向けた取組を進めようとしています。具体的には、令和2年3月にNECパーソナルコンピュータ株式会社と本市との間で連携協定を締結し、本年度は、まずはSociety5.0の理解を深めるため、市の幹部職員や若手職員向けの学習会を実施する予定です。また、新型コロナウイルスの第2波に備えて、テレワークの導入について現在検討を進めています。</p> <p>まずは、市役所内でのICT活用を進めながら、連携協定を活用し、市、民間企業・大学等の知恵を集約し、Society5.0実現に向けた取組を推進していきたいと考えています。</p>